

平成 25 年 1 月 30 日

中学生の皆さんへ
保護者の皆様へ

大阪市教育委員会

大阪市立桜宮高等学校

平成 25 年度前期入学者選抜で募集する普通科の教育課程について

昨年 12 月 23 日、大阪市立桜宮高等学校 2 年の男子生徒が自宅で自ら命を絶つという大変痛ましい事態が発生しました。顧問教諭がこの生徒に対して行った行為は、体罰というよりも、何の落ち度もない生徒に対する暴力行為であり、教育委員会としましては、生徒を守るべき教育の場において、かけがえのない命、取り戻すことのできない命を失う事態に至りましたことを極めて厳しく受け止めております。

教育委員会では、このような事態を受け、桜宮高等学校のすべての教育活動において、一切の体罰・暴力行為等を排した新しい教育方針のもとに抜本的改革を行う方針を決定しました。命の大切さを尊重し、人の痛みがわかる、他者を慈しむ心を重視した心の教育を実践し、暴力行為を徹底的に排除して、子どもたちが安心して学校生活を送れる環境を整えてまいります。

この方針をふまえ、平成 25 年度前期入学者選抜では、体育科・スポーツ健康科学科の募集を停止し、新たに普通科として募集します。この普通科では、豊かな教養と幅広い人間性（他者を慈しむ心）を最重視し、その基盤の上に真のスポーツマインドを持った人材を育成するため、スポーツに特色ある教育課程を編成します。

教育課程の概要ですが、共通教科の学習に加え、専門教科（体育）に関する科目を開講します。これまでの競技種目別の実技科目「専攻実技」を廃止し、改革の方針に沿って新たに「ヒューマンマインド」「スポーツマインド」「ソーシャルマインド」「コーチングマインド」の 4 科目を設置し、豊かな教養と幅広い人間性（他者を慈しむ心）の基盤の上に真のスポーツマインドを持った人材を育成するためのコア科目として位置づけます。専門教科（体育）に関する科目は 3 年間で約 20 単位となり、従前の体育科やスポーツ健康科学科に比べて、専門教科は減少しますが、新たにコア科目を設置します。

共通教科の「ヒューマンマインド」(人間性・倫理性を学ぶ)では、人格の尊厳を大切にして、暴力を否定する態度や批判的思考力を身につけ、豊かな教養と人間性や倫理性を高めるとともに、個人の自律性にもとづく集団づくりに積極的に取り組む能力を育てます。

「スポーツマインド」(スポーツのあるべき姿を学ぶ)では、総合的な学習の時間を活用して、体罰・暴力行為等の徹底した排除、フェアプレイの精神、高い知性と品格、相手を思いやるフェロウシップ、道徳性など豊かな人間性にもとづくスポーツマインドを兼ね備えた人材を育てることを目標とします。

「ソーシャルマインド」(社会性・公共性を学ぶ)では、夏季休業中等の集中講義として、奉仕活動、社会貢献活動など、地域の方や関係者との協力関係や良好な人間関係を築きながら他者を思いやる行動を通して、社会性や公共性を高め、総合的な「人間力」を育てます。

専門教科「体育」の「コーチングマインド」(スポーツ指導論を学ぶ)では、コーチング理論を中心に学びます。体罰や暴力的指導に決してたよることなく、相手の自主性を尊重し、他者とのコミュニケーションを重視して、幅広い人間性(他者を慈しむ心)をもった指導者としての基礎を学びます。

なお、この新しい普通科は、その成果を検証した上で、将来的に専門学科へ改編する(その場合は専門教科の単位数が増えます)ことも視野に入れており、平成26年度の学科のあり方については、改革の進捗状況にあわせて、あらためて検討する予定です。

教育委員会といたしましては、今後、生徒・保護者及び市民とともに先進的な学校づくりをすすめ、桜宮高等学校への信頼と誇りを取り戻せるよう、同校の再生に向けて全力で取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。